

入 選

動物たちの気持ち

一年 大塚みいあ

私は、動物が好きです。その中でも、猫や犬が好きで、今は亡くなってしまったけれど、数年前まで飼っていました。私は、猫を特にかわいがっていました。でもかわいがり方が猫にとって良くなかったなとずっと心の奥で引つかかっています。だから、そのことをこの作文に書きます。

私が生まれるまえから、白い猫を一匹き、飼っていました。でも、はじめは「こわい」という感情を抱いていたので、近づくことさえなかなかできませんでした。ある日とつ然、猫の頭をなでる勇気がわいて、なでてみました。そのときから私は、「動物ってこんなにかわいいんだ」と思いはじめました。頭をなでることができたのなら、次は抱っこしてみようと、家族に手伝ってもらいながら抱っこしてみました。でも、私にはなついていなかったからか、すぐに暴れだし、どこかに行ってしまった。でも、私はそのいっしゅん抱っこしただけで、本当に猫が大好きになり、同時に抱っこしたり、頭をなでたりする勇氣をもちました。でも、好きすぎて、猫はいやがっているのに、無理やり何回も抱っこしてしまっていました。それだけでもペットの気持ちを考えられていない行動をしまっていたなとずっと反省しています。

さらに、もっと猫からしたら最悪な行動をとってしまっていました。愛が大きすぎて、そんなことをしてしまっていたと考えています。でももう一つ考えられる原因は、動物たちに「かわいい」や「おもしろい」を求めすぎてしまったからかと思っています。私は、猫がかわいいから、もっとかわいいところを見たくて、ずっと一緒にいたくてこんなことをしてしまっていました。これが猫からストレスになっていたと思います。「かわいい」ばかり求めすぎて、ペットの気持ちを考えずに、後先のことも考えられていない行動をしてしまいました。

私たち人間が「かわいい」「おもしろい」を見るために、ペットや動物たちの気持ちを考えずに扱ってしまっているのではないかと、私のこと以外でも感じています。それが動物達にとって良いことになっているのか、考えてから行動するようにしたいです。